

プレミアム商品券の 独自発行を

質問 プレミアム商品券は発行と同時に即日完売となった。買えなかった市民の不満は大変なものがある。また、商品券の使用期限が終わる来年の1月以降の消費減退が予想される。奥州市独自でプレミアム商品券を発行すべきと思うがどうか。

市長 商工会議所・商工会が使いやすい購入しやすい魅力ある商品券にして頂いた結果として即日完売となった。今後プレミアム商品券を購入した人を対象に、利用実態のアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ検討したい。

通学路の倒木の危険性除去を

質問 通学路のそばに樹木が生い茂り、上から木の枝が落ちてきたり、倒木しないか心配である。林業の現場では上から落ちてきた枝に当たって怪我をする事例が多い。冬は道路が凍結し危険である。所有者が了解しているのだから行政で伐採できないか。

教育委員長 通学路の危険箇所については保護者等から情報収集して、子ども達に歩行の仕方について安全教育を



きくuchi としあみ 議員(新世会)



樹木が生い繁る通学路

実施している。冬期間は通学路の除雪を優先して行ってもらっている。
市長 通学路の樹木が道路上にはみ出していている場合には、所有者に伐採・剪定をお願いしている。ただし、早急に対応しなければならぬ時は、所有者の承諾を得て、道路管理者が伐採等を行うこともある。原則として所有者の責任で行うのが決まりである。

合併10年の効果と課題を 検証し市民と共有せよ



すがわら ゆう 議員(奥和会)

質問 合併10年の節目を迎えるにあたり、市民の認識も含めた合併の効果と課題を冷静に検証し、市民と共有した上で今後の市政運営に活かしていくべきと考えるが如何か。
市長 新市建設計画や総合計画において、毎年度、目的達成度合いと現状分析を評価検証している。このローリング結果がその都度の検証であると考えている。しかし、市民目線でも一定の評価をすべきと考える。その評価のあり方については十分に検討したい。
質問 行財政改革推進にあたり、行政評価の役割は重要であると考えている。形骸化していないか等、既存の評価システムのあり方を検証すべきではないか。また、評価の客観性を担保するためにも外部評価制度を導入する等、評価システムの再構築

をすべきと考えるが。
市長 市民にも分かりやすく、様々な形で活用ができるよう検討をしていく。なお、外部評価は、職員の意識向上と評価システムの確立をまずは重点とし、次のステージとして考えていきたい。

コミュニティメディアの活用で地域活性化を

質問 地域密着情報を提供するコミュニティメディアは、災害時のみならず地域の活性化に大きく貢献するものと期待している。情報発信には多種多様なメディアを活用すべきと考えるが、今後の利活用について伺う。

市長 地方創生や地域活性化には、地域からの情報発信が不可欠であり、コミュニティメディアの可能性は非常に大きいと考える。今後、活用できる場面を増やし、市のPRや地域活性化に繋げていくことが必要と考えている。

※コミュニティメディア
身近な地域情報を提供するメディアで、住民参加・参画が不可欠。具体的には、コミュニティFMやケーブルテレビ等の放送媒体をはじめ、地域情報紙やフリーペーパー等の印刷媒体、インターネットやその他のパソコン通信等の通信媒体等が上げられる。



街なかの賑わいを発信するメイプルサテライトスタジオ